

109	交付金事業(下水道)	県中処理区	下水道課
-----	------------	-------	------

事業目的

阿武隈川の公共用水域の水質保全

生活環境の改善

○事業概要

対象市町村：二本松市
 計画処理面積：1,011.75 ha
 計画処理人口：22,700 人
 計画処理水量：9,300 m³/日
 管渠延長：5,600 m
 処理場：あだたら清流センター標準活性汚泥法2系列4池
 事業費：14,030 百万円

○事業進捗状況

(別紙)

費用対効果分析

交付金事業（下水道） 阿武隈川上流流域下水道（二本松処理区）

$$\frac{\text{効果（便益）B}}{\text{費用C}} = \frac{\text{B①} + \text{B②} + \text{B③} + \text{B④} + \text{B⑤} + \text{B⑥} + \text{B⑦} + \text{B⑧} + \text{B⑨}}{\text{C①} + \text{C②} + \text{C③}}$$

【費用項目】

C①：建設費

C②：用地費

C③：維持管理費

【効果項目】

B①：	周辺環境の改善	(水路覆蓋化)
B②：		(水路清掃費)
B③：	居住環境の改善	(浄化槽設置費)
B④：		(浄化槽維持管理費)
B⑤：		(汚泥処理施設建設費)
B⑥：		(汚泥処理施設用地費)
B⑦：		(汚泥処理施設維持管理費)
B⑧：	公共用水域の水質保全	(公共用水域の環境価値)
B⑨：	残存価値	

$$\frac{\text{B①} + \text{B②} + \text{B③} + \text{B④} + \text{B⑤} + \text{B⑥} + \text{B⑦} + \text{B⑧} + \text{B⑨}}{\text{C①} + \text{C②} + \text{C③}} = \frac{97,192 \text{ 百万円}}{66,633 \text{ 百万円}} = \boxed{1.459}$$

費用効果分析結果について(説明資料)(B/C算出根拠資料)

<便益>

(百万円)

便益・費用内訳		前回評価時(H24) (基準年:平成23年)	今回評価時(H29) (基準年:平成28年)	増減(+/-) (H28-H23)	増減理由
周辺環境の改善	水路覆蓋化及び清掃費(B①+B②)	50,303	56,807	6,504	下水道計画区域を拡大したため
居住環境の改善	浄化槽設置費及び維持管理費(B③+B④)	30,260	29,704	-556	計画人口が減少したため
	浄化槽汚泥処理施設建設費、施設用地費及び維持管理費(B⑤+B⑥+B⑦)				
小計		80,563	86,511	5,948	
公共用水域の水質保全(環境価値)(B⑧)		0	10,919	10,919	環境価値を評価し、追加したため
残存価値(B⑨)		5,210	-239	-5,449	現在価値化に伴う減額
合計		85,773	97,192	11,419	

<費用>

建設費及び用地費(C①+C②)		56,173	63,435	7,262	現在価値化に伴う増額
維持管理費(C③)		5,706	3,198	-2,508	計画人口減少により計画汚水量が減少したため
合計		61,879	66,633	4,754	